

名前
年 組

つむぎ秋田アニメLab

バンダイナムコと提携

事業拡大、安定雇用目指す

秋田市に本社を置くアニメーション制作会社「つむぎ秋田アニメLab（ラボ）」（櫻井司社長）は、アニメ作品の企画・製作などを行うバンダイナムコフィルムワークス（東京都、浅沼誠社長）と業務提携を結んだ。業界大手との関係を強化し、事業拡大やアニメーターの安定的な雇用につなげる。

つむぎ秋田は2020年に公開された人気アニメ映画「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」の制作に携わるなどして知名度を高めてきた。原画や背景などアニメに必要な素材の作成を年間10〜20作品で担っている。

バンダイナムコフィルムワークスとの間では、同社が企画・製作したテレビアニメ「転生したら第七王子だったので、気ままに魔術を極めます」



つむぎ秋田アニメLabのスタジオで作業するアニメーター

のアニメーション制作を請け負ったことでつながりができた。同社は、1人で幅広い業務をこなすマルチなクリエイターを抱えるつむぎ秋田の制作スタイルを高く評価したという。

つむぎ秋田はバンダイナムコフィルムワークスとの業務提携により、同社が企画・製作するアニメのキャラクターデザインや絵コンテなど作品の中心的な仕事も請け負うことが見込まれる。

櫻井社長は「素材となる映

像がなければアニメは完成しない。これまで制作してきた映像が高い評価を得て提携につながり、スタッフのモチベーションも高まっている。他社よりも優先して仕事を依頼してもらえようようになるのではないかと期待している」と話す。

「機動戦士ガンダム」シリーズなど世界中にファンがいるコンテンツを持ち、グッズ展開などを含めて業界の中でも高い発信力を持つ同社と手を組むことで、つむぎ秋田の知名度も高まり、他社からの受注増につながることも期待される。「仕事を得るための営業にかかる負担は軽減される」と櫻井社長。

つむぎ秋田では事業拡大に向け、人材確保が急務。現在、秋田スタジオは役員も含めて19人体制で業務を行っている。20年、秋田市に本社を移転する際に開設した「秋田アニメ予備校」を活用した人材教育・採用も行い、中長期的には100〜300人程度の規模にする方針だ。

秋田魁新報2024年6月19日付より。

① 「提携」の意味として正しいものを、ア〜エの中から一つ選んで記号で答えましょう。

- ア 提案に賛成すること
- イ 約束を取り交わすこと
- ウ 複数のものが一つになること
- エ 共同で物事を行うこと

② 上の外来語が、記事本文の中で使われている意味と同じものを下の熟語から選び、線でつなぎましょう。

- | | |
|---------|-----|
| クリエーター | 商品 |
| モチベーション | 創作物 |
| コンテンツ | 制作者 |
| グッズ | 意欲 |

③ つむぎ秋田アニメラボがバンダイナムコフィルムワークスから高く評価されたと考えられることを、記事本文の内容から二つ見付けて書きましょう。

--	--

④ バンダイナムコフィルムワークスとの業務提携が「事業拡大や安定的な雇用」につながることが見込まれる理由を、40字以内に要約して書きましょう。

⑤ この記事の書きぶりについて正しいものを、次のア〜エから一つ選んで記号で答えましょう。

- ア つむぎ秋田アニメラボの業績の素晴らしさを実際の金額で示している。
- イ 両社の代表的な作品名を示すことで提携の意味の重要性を伝えている。
- ウ 提携の要因となったスタッフの努力を体験談に基づいて紹介している。
- エ 両社が提携に至る経緯を複数の関係者から聞き取り詳細に伝えている。